

## \*\*\* 今日の健康 (1月) \*\*\*

### < 花粉情報 2014 >

環境省が平成 26 年春のスギ・ヒノキ花粉総飛散量予測及びスギ・ヒノキ花粉飛散開始時期予測 (第 1 報) を昨年末に公表しました。スギ・ヒノキ花粉総飛散量は、例年と比較して、北海道と四国九州の一部で例年並みかやや多くなりますが、その他の地方は例年よりも少なく、とりわけ、東北地方南部から関東北部、北陸と東海地方では例年の 50% 以下の所が多くなると予測されています。平成 25 年春 (前シーズン) と比較すると、一部の地域を除き、全国的に少なくなると予測されます。ただし、例年より少ないと予測される地域でも、花粉症に対し十分な注意が必要な花粉総飛散量である県が多いと予測されるため、例年比や前シーズン比での増減に関わらず、花粉飛散量の予測値に基づいた早めの花粉症予防対策等が必要と考えられます。

#### <スギ・ヒノキ科花粉総飛散量>

##### (1) 例年 (過去 10 年間の平均) との比較

例年との比較では花粉の総飛散量は北海道と四国、九州の一部でやや多くなりますが、その他の地方は例年より少なくなるでしょう。特に東北南部から関東北部にかけてと北陸東部、東海地方、中国地方では例年の 50% 以下の地域がある見込みです。しかし、地域によって異なりますが、2000 個/cm<sup>3</sup>を越えると、一般的に花粉症に対し十分な注意が必要とされており、半数以上の地域で、これを越える飛散になると予測されます。



##### (2) 平成 25 年春シーズンとの比較

平成 26 年春の花粉の総飛散量については、平成 25 年の 7 月はほぼ全国的に日照時間が長く、気温も高めであり、8 月の日照時間も東北を除いて長く、気温も高めとなり、スギやヒノキの雄花形成が多くなる気象条件になりました。しかし、平成 25 年春 (前シーズン) が東北南部から西日本にかけて例年の 1.5 倍から 3 倍という大量飛散年になったことにより、スギ・ヒノキの雄花着花量が少なく、平成 25 年の夏が猛暑になった割には前シーズンより花粉が少なくなる見込みです。

特に、前シーズンに大量飛散となった東北南部から関東北部、北陸、東海、近畿南部、中国地方での減少が著しく、前シーズンの 3 割以下になる地域が多い見込みです。

一方、東北北部から北海道にかけてと九州南部の一部では前シーズンの飛散量が例年並みか少なかったこと、及び日照時間がやや多くなったため、前シーズンを上回る地域が多くなる見込みです。

#### <平成 26 年春のスギ花粉飛散開始時期予測>

ほぼ例年並みかやや早くなりますが、開花準備期間の 1 月から 2 月がやや低温になるために、スギ花粉の飛散開始日は、全国的に例年並みかやや遅く、西日本では花粉飛散開始が例年よりも早かった平成 25 年春と比較すると 5 日前後遅くなる可能性が高いと見込まれます。

転記： 環境省花粉情報 <https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17528>

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏